

11月25日（第3日）B会場 12:20～13:15



NIKON INSTECH CO.,LTD.

日本生物物理学年会 株式会社ニコン ランチョンセミナー

「ニコンが拓く、新しい蛍光イメージング」

演題 I

ライブセル蛍光イメージング—こんな顕微鏡が欲しい・造れるもの・創るべき技術—

理想的な光学顕微鏡とは？

生きた細胞ダイナミクスを見て測るための光学的手段について、必須な技術や便利な手法を整理してみたい。リアルタイム高S/N比画像取得やスペクトル分光など時空間波長軸に注目し、現在達成できている技術仕様と細胞イメージング例を紹介する。

次に我々バイオイメージングニストが今後創り開発すべき技術とは？について、「スマートイメージング法」の概念を提案しながら考察したい。

浜松医科大学・光量子医学研究センター
櫻井孝司先生・寺川進先生

演題 II

製品紹介「リアルスペクトルイメージング蛍光レーザ顕微鏡システム C1si」

C1siは、最大320nmの範囲のスペクトルを“ワンショット”（1回の走査）で取得できるレーザコンフォーカル顕微鏡です。これまで分離困難であった多重蛍光タンパクサンプルの分離や、バックグランドの原因であった自己蛍光の除去に加え、“ワンショット”による高速で低ダメージなスペクトル取得を実現しました。多重蛍光タンパク発現細胞や近接多重蛍光染色サンプルのコロカラライズ解析、FRETなどの高速タイムラプスへの応用など、様々な画像取得例を示しながら本システムの可能性について説明すると共に、システムを支える新しい技術について紹介いたします。

株式会社ニコン インストルメンツカンパニー
設計部 奥川久

セミナに関するお問い合わせ

株式会社ニコンインステック 第一営業部第二営業課

〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地

TEL: 044-223-2165 FAX: 044-223-2181

<http://www.nikon-instruments.jp/jpn/>